

# ロシアのインフラ整備と日本

住友商事(株) 特別顧問  
(社)ロシアNIS貿易会副会長  
廣瀬 修二

# 1. 今後のロシアのインフラ整備の問題点と日本企業の期待する方向

- ▶ (1) インフラ整備にあたっては民間主導の方針がロシアでは強かったが、民間だけでは事業がなかなか進まない印象がある。
- ▶ (2) 今後、連邦政府、地方政府のイニシアティブ、リーダーシップの更なる強化を期待。

## 2. ロシアのインフラ整備活発化および変化の動き

- (1) 2012年のウラジオストクでのAPEC首脳会議
- (2) 2014年のソチでの冬季オリンピック開催

### 3. ロシアのインフラ整備と日本の役割

- ▶ (1) 1970年代の日本の極東地域での経験  
ボストーチニー港の開発等の経験
- ▶ (2) 日本の北方地域のインフラ開発のノウハウ  
ロシアに似た北海道の企業等のノウハウ活用

## 4 . 極東長期開発計画への期待

- ▶ (1) 極東ザバイカル長期発展プログラムを早めに公開し、プロジェクト参加を早めに進めることが必要
- ▶ (2) 日ロ双方が「WIN WIN」の関係を構築するためにも、インフラ整備は不可欠